

□ 研究室テーマ

建築情報技術の利活用による人間科学をふまえた建築都市デザイン

研究でもデザインでも、①空間解析及び数理的計画、②心理実験・行動観察の統計処理による空間認知・行動特性の把握、③空間の定量化に②を反映させることによる空間認知の推定とデザイン提案、を意識して取り組みます。具体的な内容はキーワードと取り組みの選択により様々です。

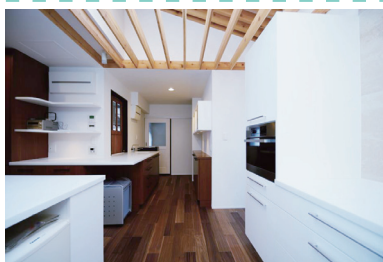
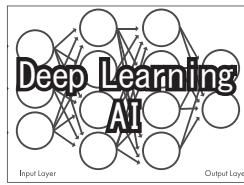
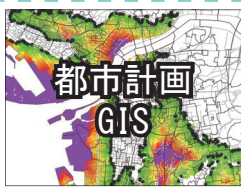
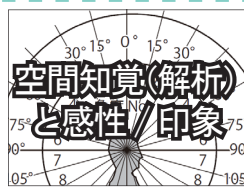
研究室キーワード群

- コンピューショナルデザイン
- デジタルファブリケーション
- 人工知能
- BIM・CG・GIS
- マルチエージェントシミュレーション
- プログラミング言語
- アルゴリズムデザイン
- ビックデータ・統計処理
- 水泳, ラーメン, 食べ放題, ダイエット
- VR(仮想空間)・AR(拡張現実)
- 機械学習・ディープラーニング
- カッコいい自転車

研究キーワード

デザインワーク

※ 建築情報研でデザイン?? 研究の一貫としてデザインもします



取り組みの例: 自由ですが例えば下記のような内容

- 人は何を見て、どのような印象を抱くのか? →
- # 全方位緑視率を用いた緑地環境に対する印象評価推定
- 人の命を助けることが出来る施設配置とは? →
- # ドクターヘリ及びドクターカー関連施設の配置計画
- 避難の時に人をどのように誘導すればいいのか? →
- # 松山城における非合理的避難の割合と被害の推移
- AEDの数は足りているのか? →
- # 非医療従事者の不確実性をふまえたAED・サインの適正配置
- 施設を作れば人のQOLは高くなるのか? →
- # 高齢者の食生活に関する主観的評価と都市の構成要素の関係
- 人は暮らしの中で何を記憶するのか? →
- # 神戸の震災による環境変化に対する地域住民の景観認知
- 見守られるような学校はどうつくる? →
- # 可視度値と視認実験を用いた小学校の自然監視性の評価
- 集合住宅のコミュニティはどうデザインする? →
- # 集合住宅の集住体における居住者の環境認知
- 見たものと、覚えているもの、何が違うの? →
- # 景観に対する認識と認知の違い
- なんとなく心良い連続感とは? →
- # 空間の連続性へのゆらぎ理論適用可能性

今、建築都市デザインに限らず情報技術を背景にした変革の時! 見込みも着地点も分からない上記のようなテーマも歓迎。

- ☆ 仮想空間における空間デザイン →
- # VR空間における空間知覚に関する研究
- ☆ 拡張現実を用いた空間デザイン →
- # AR・プロダクションマッピング・フォログラムを積極利用した空間
- ☆ 空間デザインする人工知能 →
- # Deep Learningを用いた街並みに対する感性評価予測

□ ゼミ 全体ゼミと個別ゼミを週に一回ずつ行うことが基本です。

卒業論文: 前期は課題研究を通じた技術習得, 10月に原稿を投稿して12月には学会発表。後期は卒業論文。
卒業設計: 前期は設計競技とプロジェクトを通じた技術習得, 後期は卒業設計。

研究室説明会: 10月16日(火) 16時20分 建築情報研究室

自由相談: 10/10(水) 18時30分, 10/11(木) 10時40分 個人研究室

過去の就職先: SONYコンピュータエンターテインメント, YAHOO! JAPAN, NTTデータ, オックスプランニング, プライズワード 大和ハウス工業, LIXIL, 長谷工コーポレーション, 高松建設, 大成建設, JR西日本, など

* パソコンは苦手でも大丈夫!! 具体的ではないけど何か新しいこと・先端的なことに挑戦したい人, なども歓迎します。